

「まを喰らば血まで」

路線破綻に焦り裏切りの坂道 もころげ落ちる革マル=松崎

「労働組合員を売りとばして、革マルが生きのびるため」

日刊 勤労千葉

86. 8. 9

No. 2315

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（二二）七二〇七

国鉄当局は、七月一日に設置強行した「人材活用センター」への職員配置状況なるものをマスコミ発表した。それによると八月一日現在において配置された者は一二七三〇人、組合別に見ると国労組合員が七九％、動労一一％、鉄労五％、全動労三％であるというものだが、動労松崎は、あらゆる場で雇用は守れたとして「勝利宣言」を発している。動労組合員のクビは本当に守れるのだろうか。

動労の「スローガン」自分だけ生き残る」の破産

動労革マル・松崎の唯一のスローガンは「雇用確保」である。国労や動労千葉の組合員のクビを切つて自分だけ（革マル分子）助けてくれ、そのかわり国鉄労働運動を自民党に売り渡すというものであった。

しかし、動労の「雇用確保」方針は、東京・大阪・名古屋の都市圏と新幹線を中心に「革マルだけを助ける」方針であった。破産は目に見えている。

いま動労革マルは「動労組合員といえども新会社へ行けるとは限らない」といつつ全国大会に杉浦総裁が来たから雇用確保が約束されたなどと組合員をだまして大会のりきりを図つた。



「私は、国鉄をダメにした犯罪人でした」と当局や鉄労分子の前で深く謝罪し、松崎と肩を組み合った松崎（6月29日…日比谷の慶賀集会）

全国から「革マル打倒」追放の闘いを

「愛される国鉄でなけりゃ」などのたまひ、いまやマスコミの「寵児」などとまつりあげられ、得意気にふるまっている動労革マル・松崎にとつてすべてが順調に行っているのかという逆と逆に危機に陥っているのである。

「自分だけが助かれればよい」方針の誤りは致命的だ。一歩道を踏みはずすと歯どめがきかない広域配転など、動労救済策が急ピッチに出され、松崎は、大会に杉浦を呼び、同じ職場で働く労働者のクビキリを要求、同日選で自民支持し、果ては総評脱退などと焦りにかられたヤリ方が全ての労働者から糾弾されている。

こんな動労にいてこと自体が犯罪である。心ある現場の動労組合員・役員・活動家の中からは、今、一斉にこの革マル・松崎一派の右翼反動転向・屈服路線に反発と反乱が起こりつつある。

全国の国鉄の仲間、とりわけ国労の旗の下で苦闘している仲間は、今こそ裏切者「動労革マルと革マル」「真国労」を全職場から追放し、国労中央の屈服路線を許さず、団結うち固め闘いに決起してこよう。

「革マルとは切れた」だど...!!

冗談ではない、革マル以外の誰がこんな悪質至極の裏切りと居直りができるというものが、こういう居直りとデマを平然と行っていること自体が「松崎=革マル指導部」の証明。

「革マルとは切れた。これからは愛される国鉄でなけりゃ...」

松崎明委員長

「身体を張って国労を切り崩してやろ」と金切り声を上げる革マル松崎。...

自民党とブルジョアマスコミにおだてられ利用され、いよいよ裏切りの道を行く松崎の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!